

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果 (猫のうごく《回転する》おもちゃ)

- (1) 尻尾が人の手で何の抵抗もなくグルグル回転する。
- (2) 鳴き声がしなくなった」と申込書には書かれていたが、電池を入れると声は出ている。
- (3) 電池BOXの蓋はついていない。
- (4) 触った感じがやせている。機械部のすぐ前あたり・・・背中も・・・



図-1 受付時の状態



図-2 猫の両耳が擦れて毛がない



図-3 猫の右耳拡大

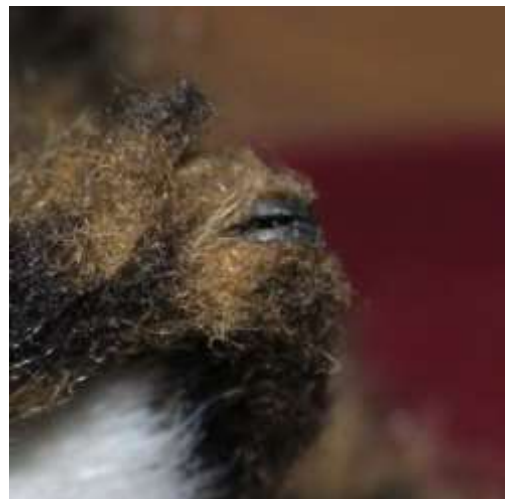


図-4 猫の左耳 拡大

2 治療の方法

- (1) 機械部を取り出して分解した。グリースが過剰についていた。内部で塵が散乱していた。



図-5 腹部から取り出す



図-6 グリースに塵が付着

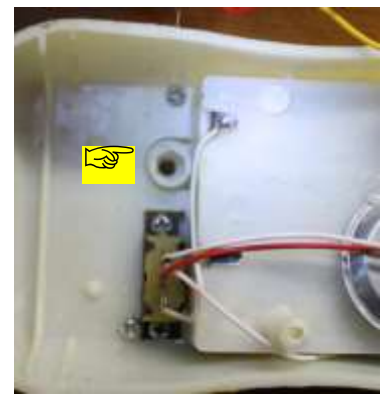


図-7 電池BOXの止めネジ穴

(2) まずモーター点検から始める。最初からモーターの回転はなかった。



図-8 モーターの点検

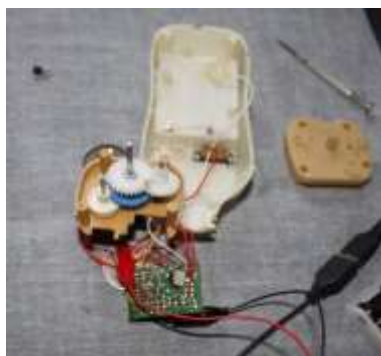


図-9 内部の点検



図-10 塵付着のギア 1



図-11 塵付着のギア 2




図-12 塵付着ギア 3



図-13 モータ軸から尻尾へ

- モーターに電圧を加えると、回転すべくガクッと動くが全く回転しない。
 - 図-3 のギア部を点検すると、推測通り塵が図-10・11・12 のようにギアの溝に付着していた。
 - 塵を全部集めてみると図-6 の量が内部に散乱・小さな塵はギアのグリースに付着していた。
 - 大きい塵とナットは、全体のボックス内にあった。ナットはスピーカーに付いていた。
- 過剰なグリースは拭き取り組み立てると、モーターは円滑に回転しだした。
- 電池ボックス蓋の止めネジのナットは、所定の場所へ外れないようにボンドで固定した。

(3) 図-13 は、モーターの回転を尻尾へつなぐ部品であるが、図のごとく尻尾の方へ回転を伝えるための突起(引っ掛かり・何と言う名称かは不明)が欠けていて、抜いたときに何所からかポトッと落ちた。これでは回転を尻尾へ伝えることはできないので、図-14  のように小さな穴をあけてリード線の内部の裸線を取り出した細い線を数回押しして端末半田付けた。反対側にも同じようにしてバランスを整えた。

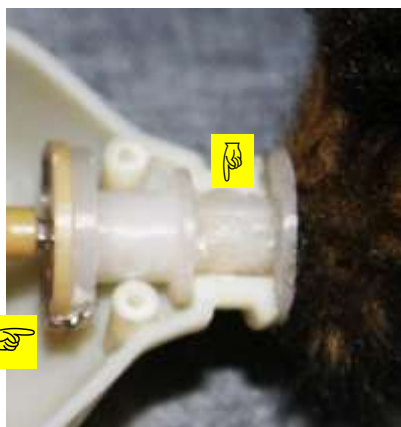


図-14-1


組み立てるときには、 にグリースを施した。



図 14-2

※直結にした理由は、図-13 の欠片をボンドで付けても強い力の掛るところのため耐えられないと判断。

- (4) 最後に、電池ボックスの蓋がなかったので、応急的に作成した。
 現物を見ていないので、細部は分からないが、単三電池がこぼれるのは十分に防げる。
 丁寧に扱えば当分は大丈夫でしょう
- 電池と蓋の間に若干の隙間があるため、スポンジ板をいれております。
 - 横に回転します。左回転・右回転を繰り返します。大きな声で笑いながら・・・
 - そのために、電池ボックスの蓋が無ければ、電池が出てしまいます。



表



裏

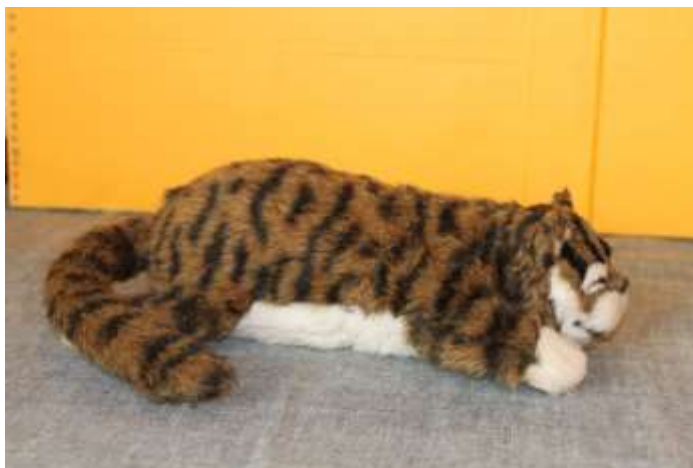


電池ボックス

- (5) 完成した猫ちゃんです。



●耳も立っております。



●綿も少し詰め込んで少しだけ恰好良いかな

3 ドクターからのアドバイス

スイッチを入れるきに、頭の方から胴体の真ん中あたりをつかみ、その状態でスイッチ ON すると良いと思います。スイッチ入れると直ぐに尻尾が回転しますので、腕などで回転を妨害するとモーターや連結部に力が加わり、故障の原因になります。

お渡し予定日：平成29年02月11日
 担当ドクター：谷 春 雄